

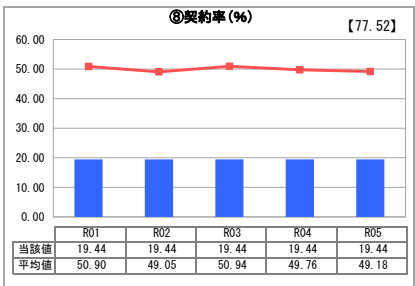
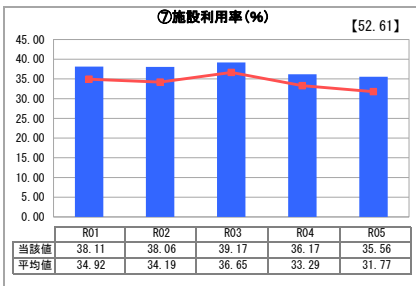
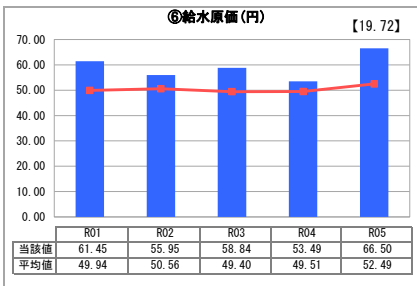
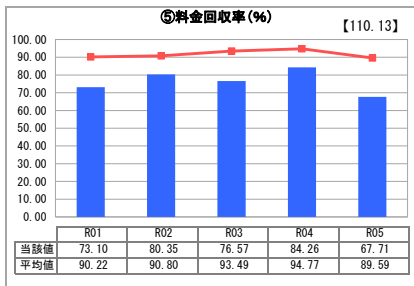
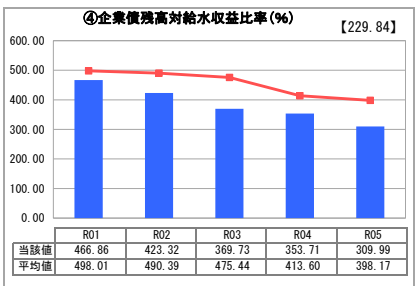
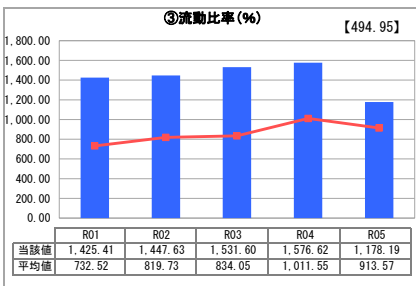
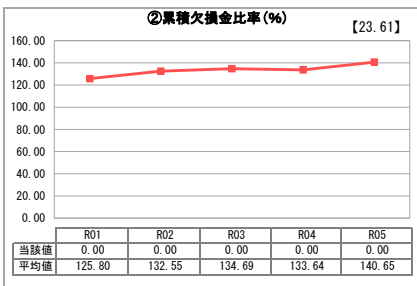
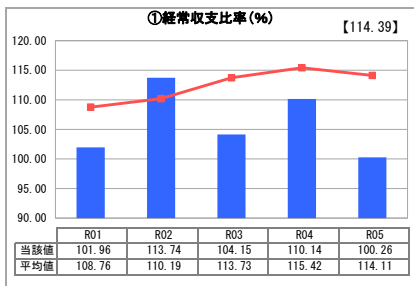
経営比較分析表／団体全体（令和5年度決算）

福岡県 豊前市
【事業概要】

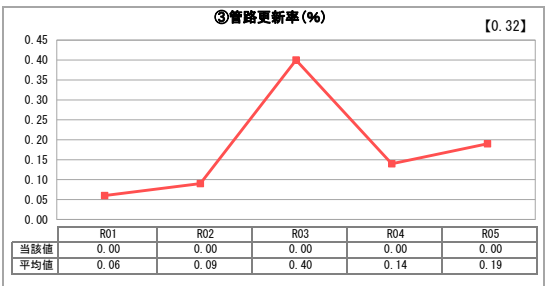
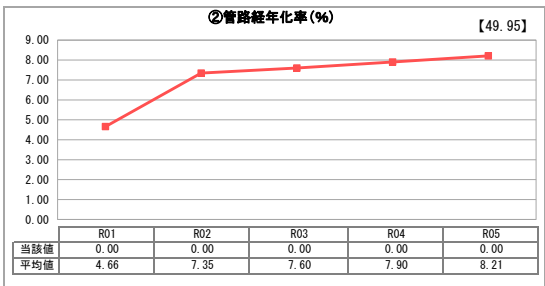
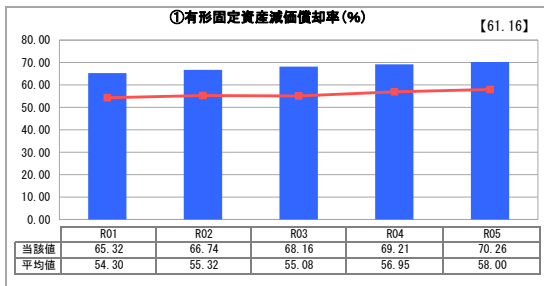
業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	1,800	極小規模	1	640
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	83.4	1	350	非設置	

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

給水先事業所が1社のためその経営状況により大きく左右される。経常収支は100%前後で推移しているが、経常収益では給水収益以外の収入の割合が高く、料金回収率も類似団体平均値を下回っている。今後更なる費用削減や更新投資等に充てる財源確保に向け、引き続き経営改善を図っていく必要がある。流動比率は類似団体平均値より大きく推移しており支払能力について問題はない。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が上昇傾向にあり、将来的な大規模機械・電気系の更新等に備え、財源の確保や経営への影響を踏まえ、必要な経営改善や投資計画等を適宜検討する必要がある。

全体総括

供給先事業所の将来的な増産計画や新規供給先ユーザー開拓に対応すべく、継続した安定供給に努め、財政状況の健全化と安定経営に取り組む。また施設設備については、適切な修繕により長寿命化を図り、現有施設の実耐用年数を延伸するなどに取組むなど計画的かつ継続的な老朽化対策を着実に実施し、安定供給の体制を確保する。